



1 地域福祉計画策定・普及推進委員会設置要綱及び委員名簿

地域福祉計画策定・普及推進委員会設置要綱

第1 設置

社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条に規定する、西東京市における地域福祉計画（以下「地域福祉計画」という。）の策定並びに地域福祉計画に基づく地域福祉の普及及び推進を図ることを目的として西東京市地域福祉計画策定・普及推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

第2 所掌事務

委員会は、次に掲げる事項について討議、提言等を行う。

- (1) 地域福祉計画の策定に関すること。
- (2) 地域福祉計画に基づく地域福祉の普及及び推進に関すること。
- (3) 社会福祉法人が取り組む地域公益事業の内容及び地域の課題やニーズに関すること。
- (4) その他地域福祉計画に関し市長が必要と認めること。

第3 組織

委員会は、12人以内の委員をもって構成し、次に掲げるもののうちから、市長が依頼する。

- (1) 保健、福祉及び医療に関する機関が推薦する者 6人以内
- (2) 学識経験者 2人以内
- (3) NPO、ボランティア団体等が推薦する者 2人以内
- (4) 公募による市民 2人以内

第4 任期

委員の任期は、市長が依頼した日から2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5 構成

委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

第6 会議

委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことはできない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

第7 分科会

委員長は、所掌事項に係る専門事項の調査及び研究をさせるため必要と認めるときは、分科会を設置することができる。

2 前項の分科会の組織、運営等については、委員長が別に定める。

第8 関係者の出席

委員長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

第9 謝金

委員会又は分科会の委員が会議に出席したときは、謝金を支給する。ただし、委員会及び分科会が同日に開催した場合、委員会及び分科会の委員を兼ねる者については、1回分の謝金を支給する。

第10 庶務

委員会及び分科会の庶務は、健康福祉部生活福祉課において処理する。

第11 委任

この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年5月1日から施行する。

委員名簿

選出区分	氏名	所属等	備考
保健、福祉 及び医療に 関する機関 が推薦する 者	新井 英人	東京都多摩小平保健所企画調整課 長	平成 30 年3月 31 日まで
	井上 愛子		平成 30 年4月1日から 平成 30 年5月 26 日まで
	滝沢 文彦	東京消防庁西東京消防署警防課長	
	篠宮 武男	民生委員児童委員協議会第1地区会 長	
	小平 勝一	社会福祉法人西東京市社会福祉協 議会福祉活動推進課長	平成 30 年3月 31 日まで
	妻屋 良男		平成 30 年4月1日から
	中野 明子	特定医療法人社団薫風会山田病院 医療連携・相談室	
	中村 眞弓	西原町地域包括支援センター	
学識経験者	熊田 博喜	武蔵野大学人間科学部教授	委員長
	伊藤 正子	法政大学現代福祉学部教授	副委員長
NPO、ボラン ティア団体が 推薦する者	渡辺 美恵	特定非営利活動法人生活企画ジェフ リー理事長	
公募による市 民	櫻井 美佳		
	小野 修平		

2 策定経過

年度	月 日	内 容
平成 29 年度	4 月 25 日	平成 29 年度第 1 回計画策定・普及推進委員会
	10 月 11 日	平成 29 年度第 2 回計画策定・普及推進委員会
	11 月 6 日～ 11 月 27 日	アンケート調査
	1 月 16 日～ 2 月 2 日	地区懇談会
	1 月 23 日	平成 29 年度第 3 回計画策定・普及推進委員会
	2 月 16 日	地区懇談会発表会
	平成 30 年度	4 月 17 日
5 月 7 日～ 5 月 25 日		団体・事業者調査アンケート調査
5 月 29 日		平成 30 年度第 2 回計画策定・普及推進委員会
6 月 18 日～ 6 月 22 日		団体・事業者調査ヒアリング調査
7 月 5 日		平成 30 年度第 1 回庁内推進委員会
7 月 17 日		平成 30 年度第 3 回計画策定・普及推進委員会
8 月 21 日		平成 30 年度第 4 回計画策定・普及推進委員会
10 月 16 日		平成 30 年度第 5 回計画策定・普及推進委員会
11 月 12 日		平成 30 年度第 2 回庁内推進委員会
11 月 13 日		平成 30 年度第 6 回計画策定・普及推進委員会
12 月 4 日		平成 30 年度第 7 回計画策定・普及推進委員会
12 月 15 日～ 1 月 14 日		パブリックコメント
12 月 18 日～ 12 月 19 日		市民説明会
2 月 5 日		平成 30 年度第 8 回計画策定・普及推進委員会

3 用語解説

あ行

アウトリーチ：英語で「手を指しのばす」という意味であり、社会福祉を担う機関がその職権により潜在的な利用希望者に医療・福祉関係者が手を指し伸べ、利用を実現させるような積極的な支援を行うこと。

青色パトロール：警視庁が発行する「パトロール実施者証」を所持する市の職員が市内を公務で移動する際に、青色回転灯を点灯させながらパトロールを実施しているもの。

安全・安心いーなメール：市内の防災・防犯に関する情報を携帯電話やパソコンにメールでお届けする、「緊急メール配信サービス」のこと。

ウェブアクセシビリティ：高齢者や障害者を含め、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること。

SNS：Social Networking Service の略称。インターネット上で社会的なつながり（Social Network）を築くことができるサービスで、参加者がインターネット上で互いに情報交換したりコミュニケーションをとることができる。

NPO：非営利団体（Non-Profit Organization）の略称。ボランティア団体や市民団体等、民間の営利を目的としない団体を指す。

音声コード：専用の読み取り機を使用すると、音声で内容を読み上げる2次元コードのこと。

か行

学校避難所運営協議会：地震等の災害が発生した場合に、避難所として指定されている西東京市立小学校及び中学校を円滑に避難所として開設し、運営ができるようにすること及び地域の防災意識等の向上を図ることを目的として、日常的に学校等が地域住民等と協議を行うために設置された協議会。

基幹相談支援センター：障害者とその家族に対する相談支援の中核的な役割を担う施設。西東京市では、障害福祉課内に基幹相談支援センターを設置している。

共生型サービス：高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受けやすくするため、介護保険と障害福祉両方の制度に新たに位置付けられたもの。これにより、介護保険または障害福祉のいずれかの指定を受けている事業所が、もう一方の制度における指定も受けやすくなる様にするもの。

くらしヘルパー：介護予防・日常生活支援総合事業の枠の中で、市が実施する2日間の研修を受講し修了証明書の交付を受けた方が、市が指定した訪問型サービスを提供する介護事業所において、身体介護を伴わない生活支援（家事援助）を中心とした仕事に従事できる制度のこと。

ゲートキーパー：悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。

「健康」応援都市：人々が互いに助け合い、生活のあらゆる局面で最高の状態（まちそのものが「健康」であること）を達成するため、その実現に向けて、保健医療・社会経済・居住環境などの様々な分野の改善を進めるとともに、地域・住民が互いに支え合う（応援する）まちのこと。

権利擁護センター「あんしん西東京」：市内に住む、精神障害者、知的障害者、身体障害者、高齢者等を対象に、福祉サービスの利用援助、成年後見制度の手続き支援を行い、年齢を重ねても、障害があっても、住み慣れた地域で自立した生活が送れる様に支援する機関。

子ども家庭支援センター・のどか：子ども自身や子育て家庭からのさまざまな相談に応じる総合窓口。地域の関係機関と連携を取りながら、お子さんと家庭に関する総合的な支援を行っている。主な業務としては、子ども家庭相談、子育て講座、養育家庭支援制度の紹介を実施している。

子ども食堂：地域のボランティアが子どもたちに対し、無料又は安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取組。

子ども110番ピーポくんの家：子供のための緊急避難所。西東京市では、市民等の協力を得て開設している。子どもが不審者などにより被害を受けたり、身の危険を感じて助けを求めたときに保護し、状況によっては警察に通報する。

さ行

災害時要援護者：災害時の避難に支援が必要な方々のこと。西東京市においては下記の方が該当する。

- 1：65歳以上の高齢者で、ひとり暮らし又は高齢者のみの世帯に属する方
- 2：介護保険の要介護認定を受けている方
- 3：心身等に障害がある方
- 4：難病（国都の難病等医療費助成認定）の方

ささえあいネットワーク：高齢者が地域の中で安心して暮らせるよう、地域の住民（ささえあい協力員）、事業所（ささえあい協力団体）、民生委員や地域包括支援センター及び市が相互に連携し合う仕組み。ささえあい協力員及び協力団体は日頃の生活や業務の中で可能な範囲で見守り活動を行い、見守りの中で異変に気付いたら関係機関へつなぐ。ささえあい訪問協力員は、ささえあい訪問サービスの利用者宅を訪問して玄関先でお話しをうかがったり、新聞受けや郵便受け、照明の点灯などから定期的に安否の確認を行う。

サロン：地域の中で仲間づくりや異世代交流等を目的とした、地域住民が運営するふれあいの場のこと。地域の福祉的な課題の発見や地域活動の組織化、福祉教育の場等へ広がる可能性ももった活動。

市民協働推進センター（ゆめこらぼ）：市民活動や協働によるまちづくりの拠点として、市民活動を幅広くサポートし、様々な協働の形を生み出していくことを目的として設立された機関。

社会的孤立：家族や地域社会との交流が客観的にみて著しく乏しい状態。

社会福祉協議会：「支えあい、ふれあいのあるまちづくり」を目標として、市民の皆さんや関係者の方々の理解と協力を得ながら地域福祉活動を積極的に推進する、社会福祉法に基づいた民間の福祉団体。

【参考】社会福祉法

（市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会）

第百九条 市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の二以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、その区域内における社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、指定都市にあつてはその区域内における地区社会福祉協議会の過半数及び社会福祉事業又は更生保護事業を経営する者の過半数が、指定都市以外の市及び町村にあつてはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を経営する者の過半数が参加するものとする。

- 一 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 二 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 三 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- 四 前三号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

社会福祉法人：社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の定めるところにより設立された法人のこと。

社会を明るくする運動：犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動のこと。

シルバー人材センター：法律に基づく公益法人で、概ね60歳以上の高齢者を会員とし、健康でかつ働くことにより生きがいを見出しながら、地域社会の一員として貢献するための新しい生活環境を会員とともに作り上げている。

スクールガードリーダー：学校の安全・防犯に関する専門知識を有した地域安全巡回指導員のこと。各小学校が主催する学校安全連絡会において、学校の安全管理体制の点検を行うとともに、学校と保護者・地域が連携した安全管理のあり方について指導・助言を行う。

生活困窮者：現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者のこと。

生活サポート相談窓口：経済的または生活していくうえでのさまざまな問題を抱えている方に対し、相談員がどのような支援が必要かを一緒に考え、ご本人同意のうえ具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行う窓口のこと。

生活支援コーディネーター：高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制を整備するため、地域における介護予防・生活支援サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす人のこと。生活支援コーディネーターは、日常生活圏域ニーズ調査や地域包括ケア会議などを通して、地域の高齢者支援のニーズと地域資源の状況把握に加えて ①地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起 ②地縁組織など多様な主体への協力依頼などの働きかけ ③関係者のネットワーク化 ④目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一 ⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発（担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能） ⑥ニーズとサービスのマッチングなどを行う。

制度の狭間：既存の制度からは抜け落ちてしまう問題を抱えていること。

成年後見制度：認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な人の自己決定の尊重と本人の保護の調和を図り、権利を守る制度。「法定後見制度」は、家庭裁判所で選任した成年後見人などがこれらの人の意思を尊重し、その人らしい生活のために、その人に代わって財産管理や身上監護などを行う。その他、判断能力が不十分になった場合に備えて、財産管理や身上監護等を自分の信頼する人に希望どおりに行ってもらえるよう、あらかじめ契約しておくことができる「任意後見制度」もある。

相談支援センター・えぼっく：障害の種別に関わらず、市内に在住する障害者・障害児、ならびにその家族または介護を必要とする方からの相談に応じ、必要な情報の提供や、権利擁護のために必要な援助を行うとともに、地域のネットワークの活用によって課題の解決を図る相談支援センターのこと。障害者の自立と社会参加を支援するとともに、障害者が社会を構成する一員として、地域において生活し、活動できる環境づくりの促進を図る。

た行

男女平等推進センター・バリテ：一人ひとりが自分らしく自立し、いきいきと個性と能力を発揮できる社会をめざし、男女平等参画社会の実現を目指して活動するグループの支援や、相談受付、講演会・講座・イベント等の実施を行うセンターのこと。

地域活動拠点：地域の方々が顔見知りとなり、自然にふれあう暖かな地域づくりの実現を目指した拠点のこと。

地域協議会：社会福祉法人が余裕資金を活用して地域公益事業を行う際に、その取組内容に、地域の福祉ニーズを的確に反映するとともに、法人が円滑かつ公正に意見聴取を行える場として設置する会議体。西東京市では地域福祉計画策定・普及推進委員会を活用。

地域協力ネットワーク：各地域で活動している様々な団体や地域住民が「連携」「協力」し合い、まちづくりのために活動するネットワークの住民自治組織のこと。

地域子育て支援センター：市内の公立保育園5か所（ひがし保育園・なかまち保育園・やぎさわ保育園・すみよし保育園・けやき保育園）を基幹型保育園として位置付け、地域子育て支援センターを開設している。施設内の集いの部屋の他、園庭も利用ができ、就学前までのお子さんと家族、これから親になれる方に子育て相談・子育て講座等各種子育て支援を行っている。

地域福祉：支援する人も支援される人も、地域で一人ひとりがその人らしい生活を送れるよう、行政や関係機関・団体、サービス提供事業者、市民等が協力して「暮らしやすい地域づくり」を進めること。

地域福祉コーディネーター：地域の課題や困りごとを地域の皆さんと一緒に解決する調整役のことで、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格をもち、地域福祉活動に従事した経験をもつ専門家が担当している。

地域包括支援センター：予防重視型システムの構築に向けて、公正・中立な立場から「総合相談支援事業」、「介護予防ケアマネジメント事業」、「包括的・継続的マネジメント事業」、「高齢者の虐待の防止・早期発見及び権利擁護事業」の4つの基本的な機能を持つ総合的マネジメントを担う中核機関として、設置されている機関。地域包括支援センターには、保健師・経験のある看護師、主任ケアマネジャー、社会福祉士を配置し、専門職の協働による業務を展開する。設置・運営に関しては、中立性の確保、人材確保支援等の観点から「地域包括支援センター運営協議会」が関わることになっている。

ドメスティックバイオレンス（DV）：Domestic Violence をカタカナで表記したもので、「ディーブイ（DV）」と呼ばれることもある。一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されることが多い。

出前講座：市政についての理解を深めていただくとともに、団体・グループの学習の場として利用していただくために、講座メニューの中から市民の皆さんが希望するものについて、市職員が出向いて話をするもの。

な行

西東京市くらしの情報：「暮らしの便利帳」から外国人に必要な情報を掲載し、日本語ルビ版・英語・韓国朝鮮語・中国語を併記した、多言語情報提供の冊子のこと。

2025年問題：2025年までにいわゆる団塊の世代が75歳以上となり、医療と介護の両方を必要とする高齢者の増大が予想されている。そのため、全国で地域のすべての人が地域ぐるみで支えあう仕組みづくり＝地域包括ケアシステムの構築が急がれている。

日常生活自立支援事業：福祉サービスが契約による利用制度に移行することに伴い、自己決定能力が低下した人のサービス利用を支援するために、成年後見制度の補完として設けられた制度。

認知症サポーター：認知症を正しく理解し、地域で生活している認知症の方やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で支援する人のこと。国の「認知症を知り、地域をつくるキャンペーン」の一環として、キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師役）が地域・企業・学校などで認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターを養成する。

は行

8050問題：「80歳代の親と50歳代のひきこもりの子どもが同居している」といった高齢の親とその子どもの世帯が、収入が途絶えたり、病気や介護が必要な状態になるなど複合的な課題を抱えることで、孤立・困窮してしまうという問題。

はなバス：既存のバスサービスではカバーしきれない市民ニーズに対応する西東京市独自の新たなバスシステムで、公共交通空白地域を中心に運行するもの。

バリアフリー：バリア（障壁）をフリー（解消）にすることで、高齢者・障害者などの人々が生活しやすい環境に整備しようという考え。バリアには、段差などの具体的な障壁だけでなく、制度や差別意識など幅広い概念を含む。

ハンディキャブ・けやき号：障害などのため車いす等を使用しなければ外出が困難な方、および重度の視覚障害者の方が利用できる、車いすのまま乗車できる自動車のこと。

ピクトグラム：言葉によらない、目で見るだけで案内を可能とするものこと。

避難行動要支援者：大地震などの災害発生時に、一人暮らし高齢者や障害者など自分の力で避難することが困難な方のこと。

ファミリーサポートセンター：地域での子育て支援を目的として、子どもを預けたい方（ファミリー会員）と子どもを預かりたい方（サポート会員）がお互いに会員となる組織で、会員間で「子どもを預かる」という有償の相互援助活動を行う。

福祉圏域：地域福祉を推進するために必要な取組や仕組づくりを効果的に展開していくための地域の範囲。

福祉サービス第三者評価：事業者の提供するサービスの質を当事者（事業者及び利用者）以外の公正・中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価する制度。個々の事業者が事業運営における具体的な問題点を把握し、サービスの質の向上に結びつけるとともに、利用者の適切なサービスの選択に資するための情報として公表する。

ふれあいのまちづくり：西東京市社会福祉協議会が進めている、小学校通学区域を中心に住民懇談会等の地域に即した活動を行うもの。住民自らが地域にある生活課題を見つけ、解決していく取組。

放課後カフェ：市内公立中学校校内において、地域の大人が運営する、中学生の居場所としてのカフェ。地域の大人が関わることで、地域の大人と中学生との間につながりが生まれ、地域の輪が広がる場ともなっている。

ほっとするまちネットワークシステム：西東京市独自の取り組みで、西東京市民の誰もが住んでいてほっとできる地域になるよう、市民や地域の活動団体、ほっとネット推進員など様々な人やサービス、機関を地域福祉コーディネーターがつなぎ、地域の課題を解決していくためのネットワークのことをいう。

ほっとネット推進員：地域の課題を発見し、地域福祉コーディネーターへつなぎ、解決のために協力してくださる市民の方のことで、登録研修を受けた方ならどなたでもなることができる。これらの地域の中での活動以外に、情報紙づくりや地域での居場所づくりなどにも取り組んでいる。

ボランティア・市民活動センター：西東京市内を中心に、ボランティア活動等を実践している、あるいはこうした活動に関心をもっている団体・個人同士の橋渡しや、活動に関する相談受付、活動に関する講習会の開催等の支援を行っている機関。

ま行

民生委員・児童委員：「民生委員法」、「児童福祉法」によって設置された地域住民を支援するボランティア。地域の相談相手として、暮らしの支援、高齢者・障害者の支援を行う。行政機関と協働し、問題が起こったときは速やかに連絡を取り合うなど、地域のパイプ役として活動している。

や行

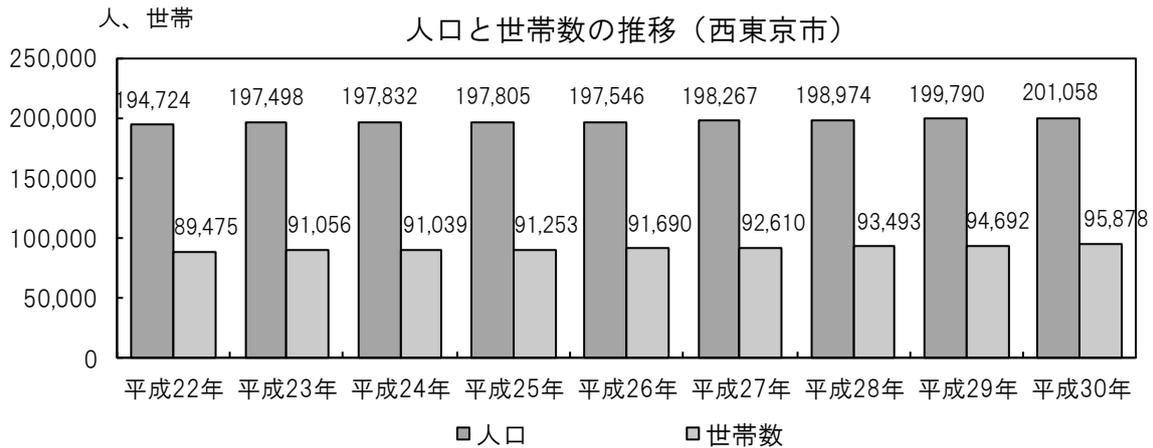
ユニバーサルデザイン：ユニバーサルは「すべてにわたり一般的な」という意味をもつ。ユニバーサルデザインは、すべての年齢や能力の人々に対し、可能な限り最大限に使いやすい製品や環境のデザインを指し、「みんなのためのデザイン」ともいわれている。

4 統計データ

(1) 人口・世帯数の推移

人口の推移を見ると、平成 24 年から平成 26 年にかけて一度減少したものの、年々増加しており、平成 30 年 1 月 1 日現在では、201,058 人となっています。

世帯数は平成 23 年から平成 24 年にかけて減少したものの、以降は年々増加しています。



資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（各年1月1日現在）

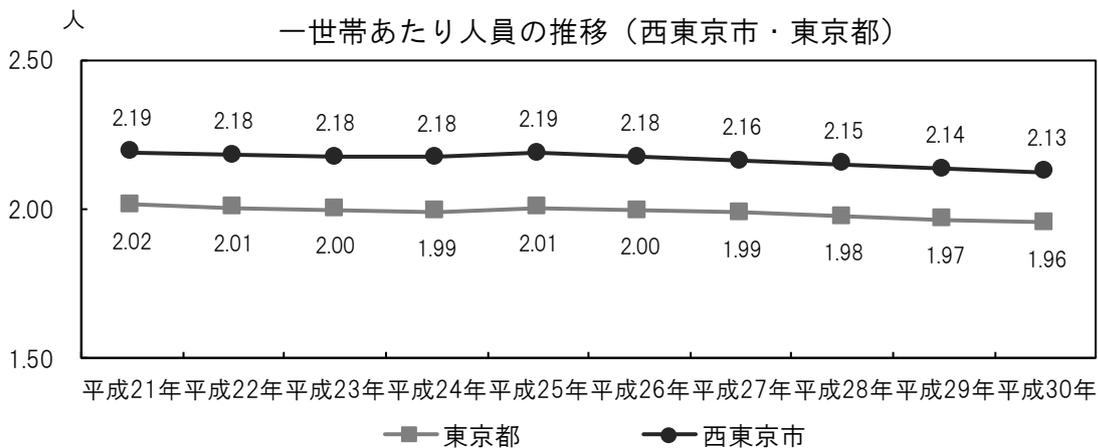
統計にしようきょう（平成 25 年版）（各年1月1日現在）

※人口は、平成 23 年以前は、日本人人口と外国人登録人口の合計

※世帯数についても、外国人人口分を含む（平成 23 年以前は、外国人登録人口による世帯数を合算）

(2) 一世帯あたり人員の推移

一世帯あたり人員の推移は、平成 25 年以降年々減少傾向にありますが、東京都を上回って推移しています。

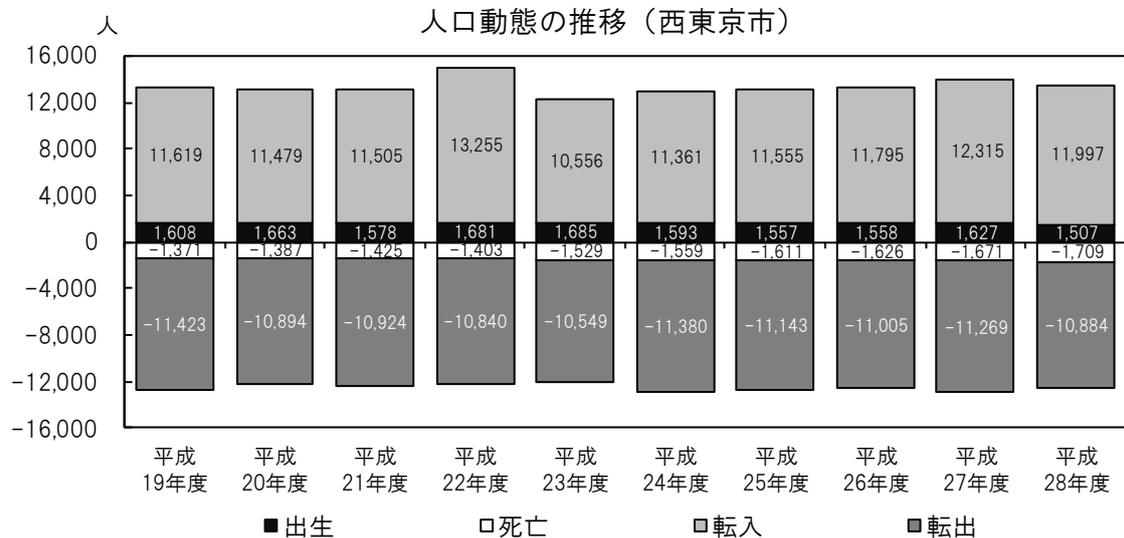


資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（各年1月1日現在）

※基にした人口、世帯数は日本人住民のもの

(3) 社会増減・自然増減

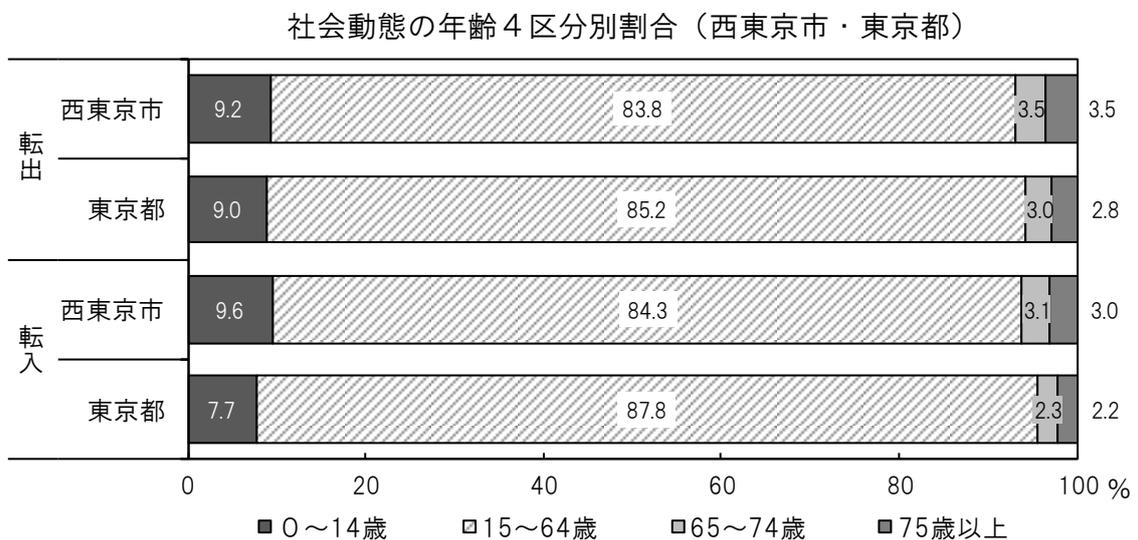
人口動態を見ると、転入が転出を上回る社会増が1,000人を超える年度もあり、増減を繰り返しています。一方、自然動態については死亡が出生を上回っており近年減少傾向となっています。



資料：統計にしようきょう(平成24年版、平成25年版、平成29年版)

(4) 年齢4区分ごとの社会動態

社会動態の年齢4区分割合を東京都と比較すると、特に0～14歳の転入割合が東京都よりも多くなっています。

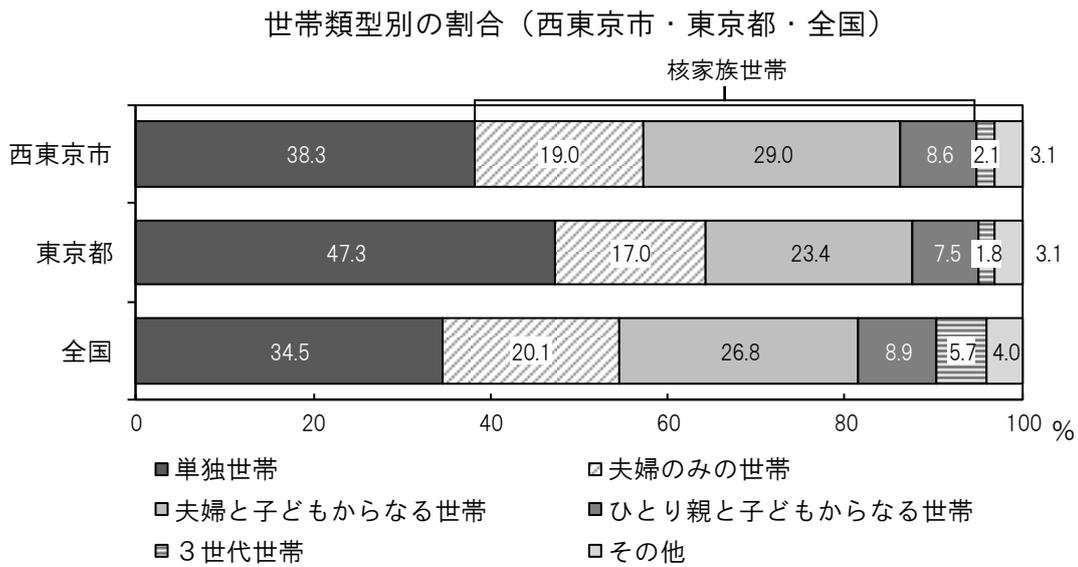
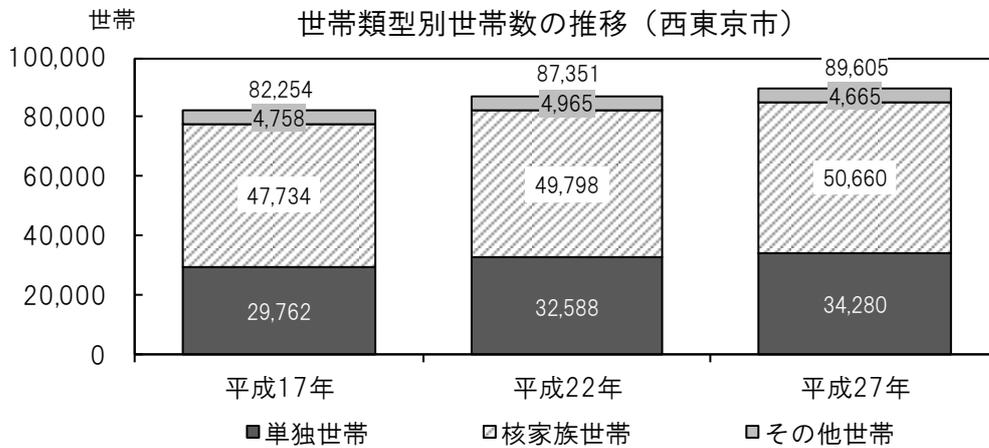


資料：東京都住民基本台帳人口移動報告 平成28年

(5) 世帯類型別の状況

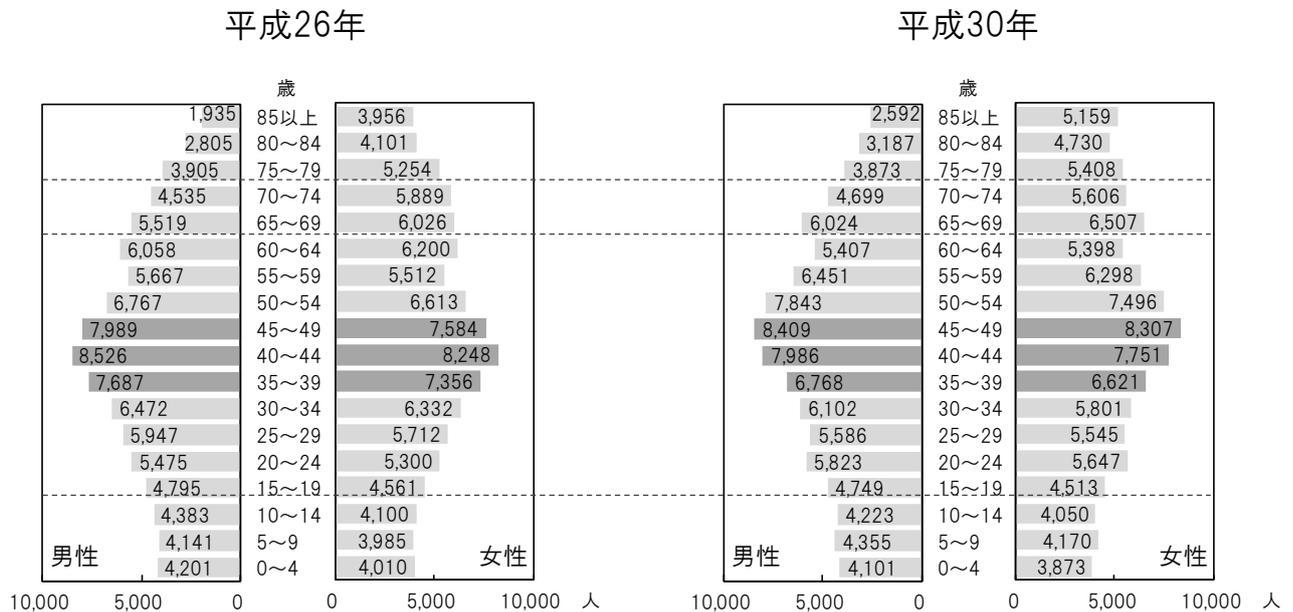
世帯類型別世帯数の推移を見ると、単独世帯、核家族世帯ともに増加しています。

世帯類型別の割合を全国・東京都と比較すると、単独世帯の割合が東京都より少なく、夫婦と子どもからなる世帯の割合が多くなっています。



(6) 人口ピラミッド

人口ピラミッドは、平成26年と平成30年を比較して大きな変化はなく、35～49歳の年代が特に多くなっています。

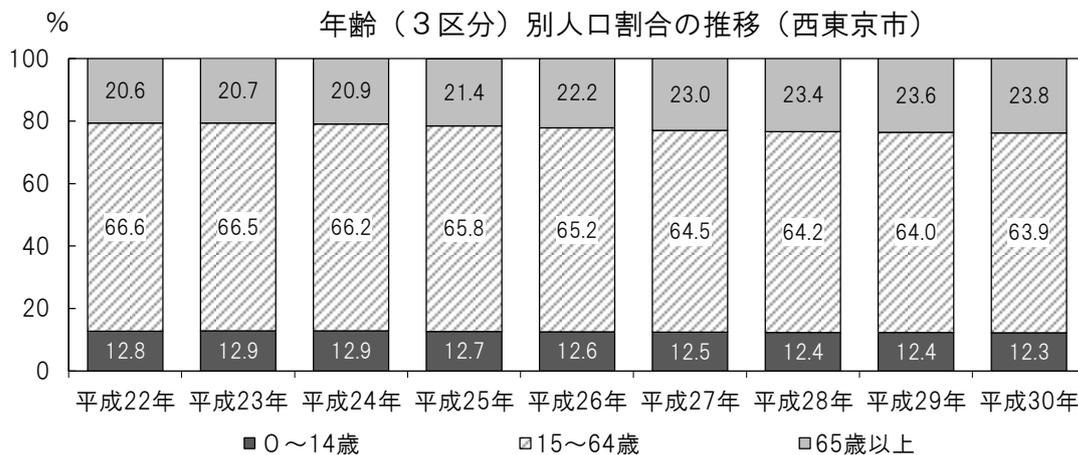


資料: 住民基本台帳による東京都の世帯と人口(各年1月1日現在)

※外国人人口分を含む

(7) 年齢(3区分)別人口割合の推移

年齢(3区分)別人口割合の推移を見ると、0～14歳及び15～64歳が減少傾向に、65歳以上が増加傾向にあり、少子高齢化の進行が伺えます。

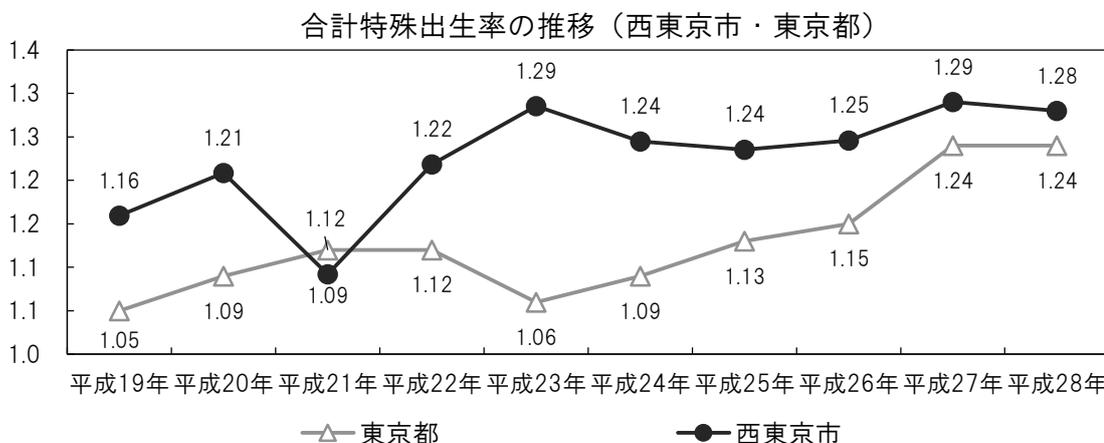


資料: 統計にしよう(平成25年版、平成29年版)(各年1月1日現在)

※平成24年度までは外国人が含まれない値

(8) 合計特殊出生率

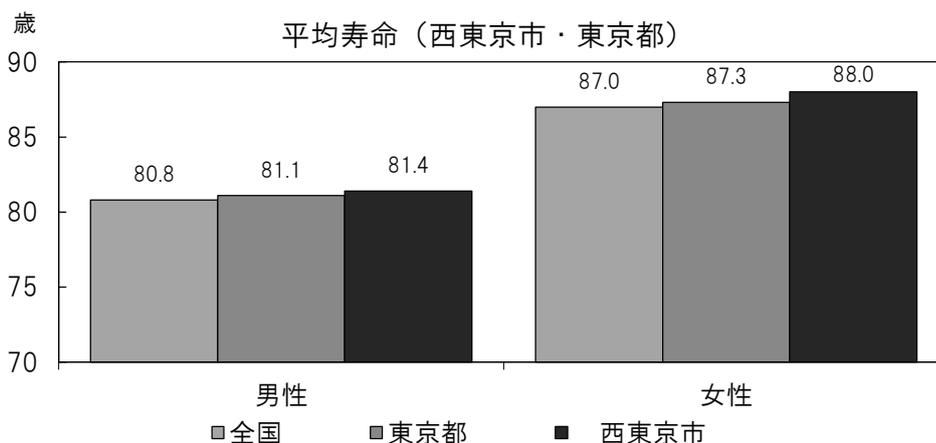
合計特殊出生率の推移を見ると、平成 21 年を除き、東京都の水準を上回って推移しています。また、過去 10 年間で概ね増加傾向にあります。



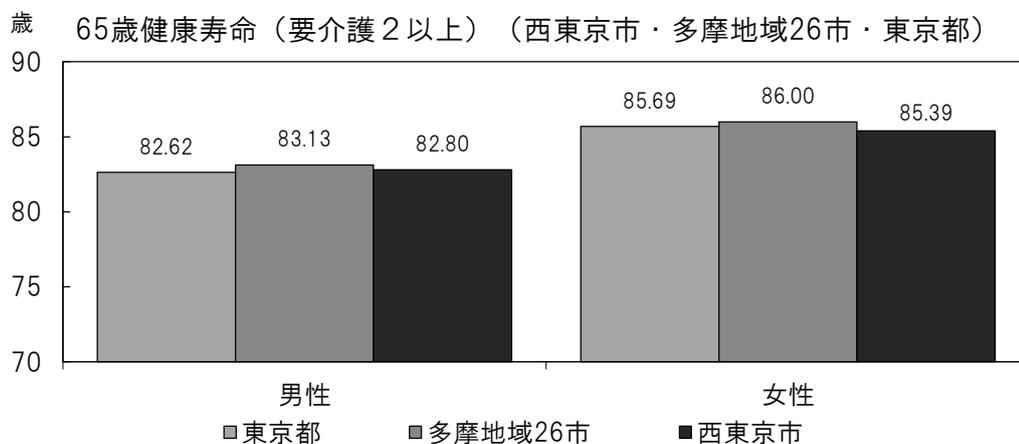
資料：東京都人口動態統計

(9) 平均寿命・健康寿命

平均寿命は、男性が 81.4 歳、女性が 88.0 歳となっており、全国・東京都の水準を上回っています。健康寿命は、男性が 82.8 歳、女性が 85.39 歳となっています。



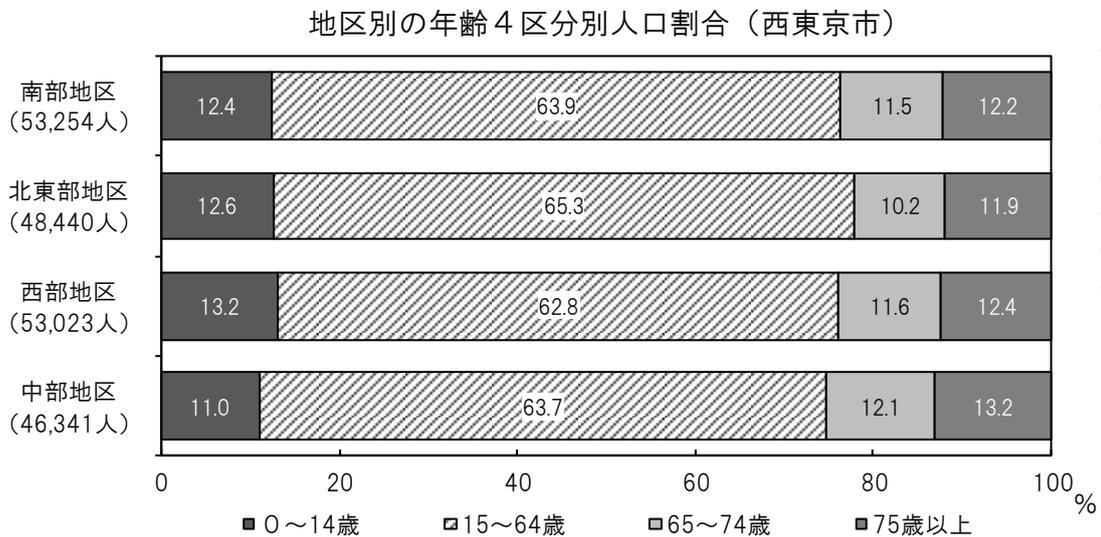
資料：平成 27 年市区町村別生命表



資料：65 歳健康寿命 要介護2以上(平成 29 年)
(東京都保健所長会方式)

(10) 地区別の年齢4区分別人口割合

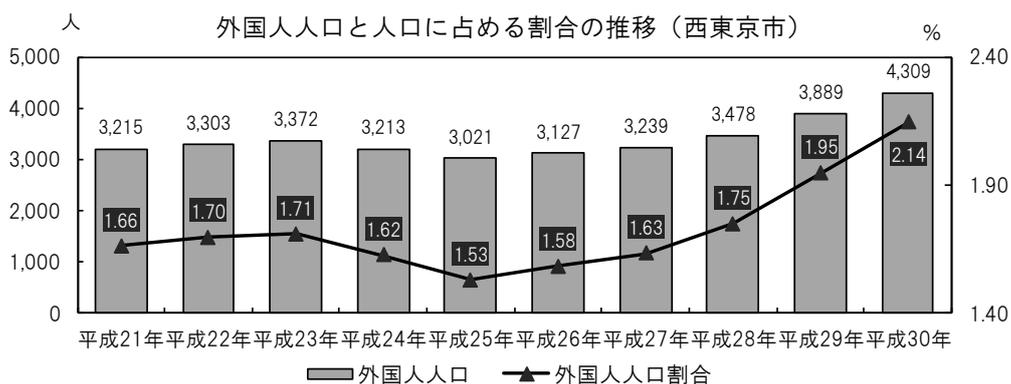
地区別の年齢4区分別人口割合を見ると、0～14歳は西部地区が13.2%、15～64歳は北東部地区が65.3%、65～74歳及び75歳以上は中部地区が12.1%、13.2%でそれぞれ他の地区に比べてやや多くなっています。



資料：統計にしようきょう(平成29年版)(平成30年1月1日現在)

(11) 外国籍市民の推移

外国籍市民の推移を見ると、平成25年以降年々増加傾向にあり、平成30年で4,309人、人口割合は2.14%となっています。



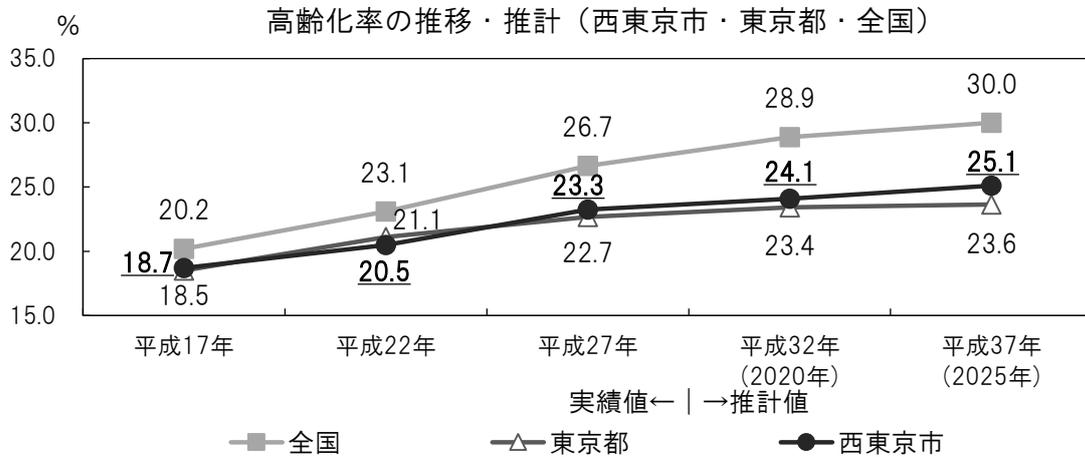
出典：住民基本台帳による東京都の世帯と人口(各年1月1日現在)

東京都の外国人人口(各年1月1日現在)

※割合算出時に基にした人口は、日本人住民と外国人住民の合計(平成23年以前は、外国人登録人口を合算)

(12) 高齢化の状況

高齢化率の推移を見ると、平成 27 年時点では 23.3%となっており、今後も増加し、平成 37（2025）年には 25%を超えることが予測されています。



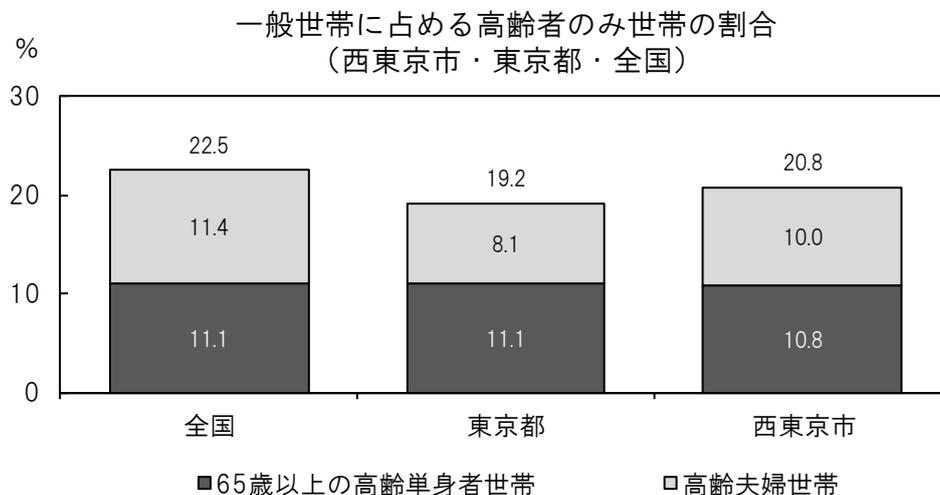
資料：全国…日本の将来推計人口(平成 29 年推計)

東京都…日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)

西東京市…高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第4期、第5期、第6期、第7期)

(13) 高齢者のみ世帯の状況

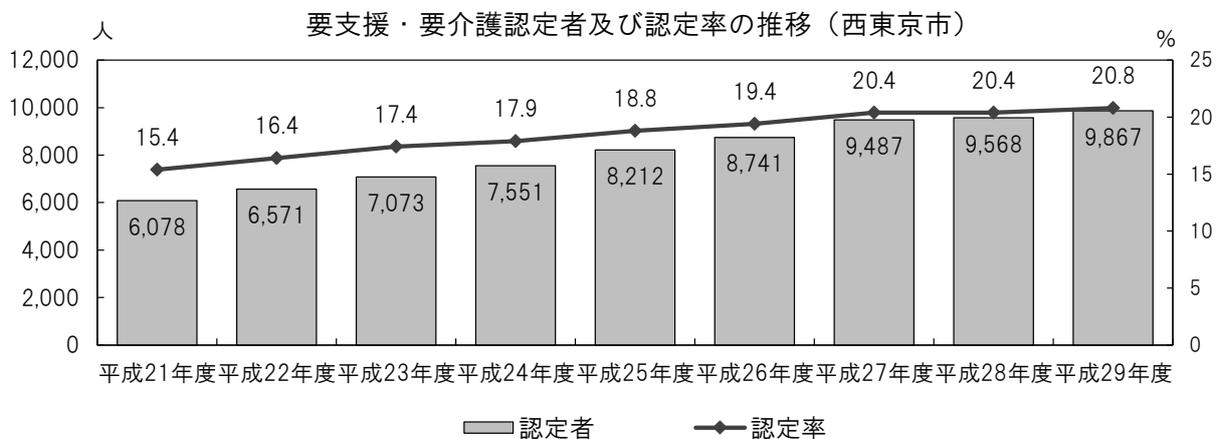
一般世帯に占める高齢者のみ世帯の割合を見ると、20.8%となっており、特に高齢夫婦世帯で東京都よりも多くなっています。



資料：国勢調査(平成 27 年)

(14) 介護保険の認定状況

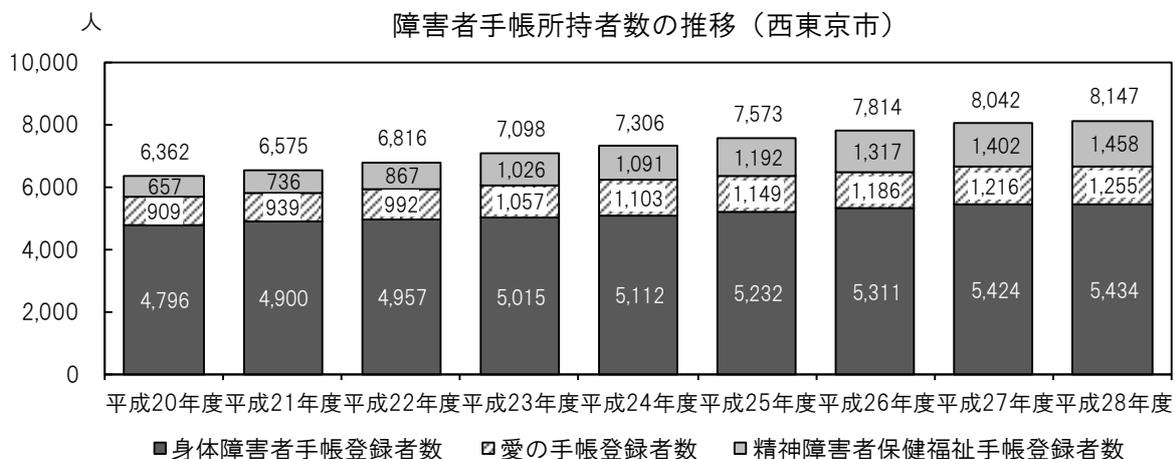
要支援・要介護認定者及び認定率の推移を見ると、年々増加傾向にあり、平成 21 年度から平成 29 年度までで 5.4 ポイントの増加となっています。



資料：西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第5期、第6期、第7期)

(15) 障害者の状況

障害者手帳所持者数の推移を見ると、いずれの手帳所持者も増加傾向にあり、特に精神障害者保健福祉手帳登録者数は平成 20 年度から平成 28 年度までで約 2.2 倍の増加となっています。



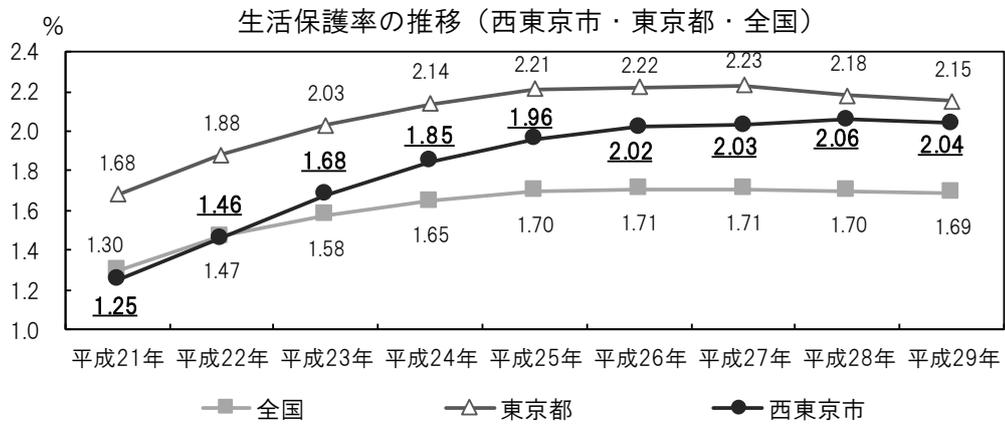
資料：統計にしよう(平成 25 年版、平成 29 年版)

資料：西東京市障害者基本計画(平成 26 年度から平成 35 年度まで)

※各年度3月 31 日実績

(16) 生活保護の状況

生活保護率の推移を見ると、平成 28 年までは年々増加していましたが、平成 29 年ではほぼ横ばいとなっています。



資料：統計にしよう(平成 24 年版、平成 25 年版、平成 29 年版)

5 各種調査結果概要

(1) アンケート調査結果

①市民

問1 あなたの性別をお教えてください。(〇は1つ)

回答数	1,270件
男性	43.4%
女性	52.8%
無回答	3.9%

問2 あなたの年齢をお教えてください。(〇は1つ)

回答数	1,270件
18～29歳	7.4%
30～39歳	10.2%
40～49歳	16.5%
50～59歳	16.5%
60～69歳	16.1%
70～74歳	9.8%
75～79歳	8.6%
80歳以上	11.2%
無回答	3.8%

問3 あなたの世帯構成をお教えてください。(〇は1つ)

回答数	1,270件
ひとり暮らし	13.5%
夫婦ふたり暮らし	27.1%
親と同居(二世帯)	12.2%
子どもと同居(二世帯)	35.3%
子どもと親又は孫の三世帯同居	4.6%
その他の世帯	2.8%
無回答	4.4%

問4 あなたご自身は、西東京市に住むようになってから何年になりますか。(〇は1つ)

回答数	1,270件
2年以内	5.9%
3～5年	8.1%
6～10年	10.2%
11～20年	21.5%
21～30年	14.6%
31年以上	35.2%
無回答	4.5%

問5 あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(〇は1つ)

回答数	1,270件
田無町	6.3%
南町	5.7%
西原町	3.5%
緑町	1.8%
谷戸町	6.4%
北原町	2.2%
向台町	7.8%
芝久保町	9.9%
新町	4.6%
柳沢	6.0%
東伏見	2.4%
保谷町	5.7%
富士町	4.9%
中町	3.8%
東町	3.7%
泉町	4.6%
住吉町	3.2%
ひばりが丘	4.6%
ひばりが丘北	1.9%
栄町	1.9%
北町	2.1%
下保谷	3.1%
無回答	3.9%

問6 あなたのお住まいの形態は、次のどれですか。(〇は1つ)

回答数	1,270件
持家(一戸建て)	50.7%
借家(一戸建て)	2.2%
持家(集合住宅)	20.6%
借家(集合住宅)	20.6%
寮	0.2%
その他	1.9%
無回答	3.9%

問 7 あなたの職業は、次のどれですか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
農林漁業	0.1%
自営業・家族従業	5.4%
自由業	2.0%
会社員	24.0%
公務員	4.1%
パート・アルバイト	14.3%
派遣等	1.7%
専業主婦(夫)	14.8%
学 生	2.3%
無 職	23.7%
その他	3.4%
無回答	4.3%

問 8 あなたは、これからも西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
住み続けたい	52.9%
当分は住み続けたい	24.5%
できれば転居したい	4.6%
転居したい	1.3%
わからない	11.4%
無回答	5.3%

問 9 あなたは、ふだん近所の方との程度のつきあいをしていますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
ほとんど顔も知らない	7.9%
顔は知っているが、声をかけたことがない	3.1%
顔を合わせれば、あいさつする	72.0%
2～3日留守にするときは、声をかける	5.9%
常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある	1.3%
家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	4.1%
その他	0.5%
無回答	5.2%

問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかわりが必要だと考えますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
必要だと思う	35.1%
まあまあ必要だと思う	46.7%
ほとんど必要ないと思う	8.1%
必要でない	1.2%
無回答	8.9%

問 10-1 あなたは、どのようなときに地域とのかかわりの必要性を感じますか。(○は3つまで)

回答数	1,039 件
近所の人に気軽に相談したいと思ったとき	23.5%
高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき	44.2%
子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき	24.3%
言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国籍の人を見かけたとき	3.8%
災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき	62.8%
近所で空き巣の被害を聞いたとき	21.5%
近所に手助けが必要な人を見かけたとき	29.0%
防犯活動やふれあいのまちづくり住民懇談会など、地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき	16.6%
地域の行事に参加したとき	10.2%
その他	2.7%
無回答	1.3%

問 11 あなたの近所には、次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	1,270 件
高齢者のみの世帯	25.4%
寝たきりの人	1.8%
認知症の人	6.8%
病気療養中の人	7.1%
閉じこもりや引きこもりの人	4.7%
生活困窮者	2.3%
その他	2.2%
いない	21.4%
わからない	39.8%
無回答	10.0%

問 12 現在、あなたの住んでいる地域の中で課題に感じることは何ですか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	1,270 件
あいさつをしない人が多い	14.2%
近所との交流が少ない	30.0%
世代間の交流が少ない	17.2%
地域の活動が活発でない	17.2%
地域の中で気軽に集まれる場が少ない	14.2%
移動手段が整っていない	7.2%
買い物へ行くのに不便を感じている	9.3%
緊急時にどうしたらよいかわからない	22.0%
治安が悪くなっている	5.5%
地域から孤立している人がいる	3.7%
サービスに結びついていない人がいる	2.6%
その他	4.6%
特になし	25.4%
無回答	6.9%

問 13 あなたは、日常生活で困ったときに、手助けを頼める人がいますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
手助けを頼める人がいる	48.3%
手助けを頼みたいがいない	8.8%
困っていることはあるが、手助けは不要	3.6%
特に困っていることはない	32.7%
無回答	6.5%

問 14 あなたが、もし高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちに何をしてほしいですか。(○は3つまで)

回答数	1,270 件
趣味などの話し相手	8.5%
安否確認の見守り、声かけ	31.7%
ゴミ出し	12.4%
ペットの世話	3.4%
庭の手入れ	5.4%
ちょっとした買い物	13.5%
短時間の子どもの預かり	3.6%
通院・外出などの手伝い	12.3%
お弁当の配食	8.3%
食事の支度や片付け	8.0%
掃除・洗濯	12.5%
家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	7.2%
急病時の対応	36.9%
災害時の手助け	39.7%
子育てや介護など悩み事の相談	3.4%
地域の情報提供	7.6%
その他	2.3%
特になし	11.1%
無回答	6.0%

問 15 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3つまで)

回答数	1,270 件
趣味などの話し相手	19.8%
安否確認の見守り、声かけ	40.5%
ゴミ出し	16.0%
ペットの世話	3.9%
庭の手入れ	4.4%
ちょっとした買い物	22.8%
短時間の子どもの預かり	6.6%
通院・外出などの手伝い	8.1%
お弁当の配食	2.8%
食事の支度や片付け	2.1%
掃除・洗濯	6.1%
家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	6.0%
急病時の対応	18.5%
災害時の手助け	30.5%
子育てや介護など悩み事の相談	5.0%
地域の情報提供	5.7%
その他	2.7%
特になし	13.6%
無回答	6.8%

問 16 あなたは、現在自治(町)会に加入していますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
加入している	28.3%
加入していない	64.5%
無回答	7.2%

問 16-1 加入していない理由は何ですか。(○は1つ)

回答数	819 件
自治(町)会がない	35.4%
自治(町)会があるのかどうか知らない	28.3%
加入の必要性を感じない	5.4%
会費を払いたくない	0.0%
暇がない	5.5%
人づきあいがわずらわしい	2.0%
自治(町)会は不要である	1.6%
加入に誘われない	5.1%
その他	3.9%
特に理由はない	11.1%
無回答	1.7%

問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
非常に関心がある	4.0%
ある程度関心がある	48.8%
あまり関心がない	33.8%
全く関心がない	7.4%
無回答	6.0%

問 18 あなたは、福祉に関するボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
ある	16.0%
ない	76.7%
無回答	7.3%

問 18-1 あなたが、ボランティア活動に参加したことがないのは、どのような理由ですか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	974 件
活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない	37.0%
活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない	19.0%
身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない	30.5%
健康に自信がないので難しい	22.4%
家族や職場の理解が得られないので難しい	1.4%
興味を持てる活動がない	10.4%
その他	6.5%
ボランティア活動はしたくない(問 19 の回答は不要です)	6.8%
無回答	2.5%

問 19 あなたは、今後、福祉に関するボランティア活動に参加したいとお考えですか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
積極的に参加したい	2.0%
できるだけ参加したい	37.7%
あまり参加したくない	35.7%
参加したくない	9.7%
無回答	14.8%

問 20 (1) 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。

回答数	1,270 件
はい	12.2%
いいえ	75.4%
わからない	6.9%
無回答	5.4%

問 20 (2) 地域の防災市民組織(自治(町)会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っていますか。

回答数	1,270 件
はい	9.4%
いいえ	72.5%
わからない	12.4%
無回答	5.7%

問 20 (3) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか。

回答数	1,270 件
はい	19.4%
いいえ	62.9%
わからない	12.6%
無回答	5.1%

問 20 (4) 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人などの要援護者の避難等の手助けができますか。

回答数	1,270 件
はい	35.7%
いいえ	22.0%
わからない	36.7%
無回答	5.6%

問 21 (1) 成年後見制度

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	21.7%
名前を知っており、内容も少しは知っている	28.6%
名前は知っているが、内容は知らない	20.9%
名前も内容も知らない	23.5%
無回答	5.3%

問 21 (2) 生活困窮者自立支援制度

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	10.0%
名前を知っており、内容も少しは知っている	22.0%
名前は知っているが、内容は知らない	37.2%
名前も内容も知らない	25.3%
無回答	5.4%

問 21 (3) 地域包括支援センター

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	19.8%
名前を知っており、内容も少しは知っている	18.7%
名前は知っているが、内容は知らない	29.4%
名前も内容も知らない	27.3%
無回答	4.7%

問 21 (4) 西東京市社会福祉協議会

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	14.3%
名前を知っており、内容も少しは知っている	20.2%
名前は知っているが、内容は知らない	35.9%
名前も内容も知らない	25.1%
無回答	4.6%

問 21 (5) 民生委員・児童委員

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	20.9%
名前を知っており、内容も少しは知っている	36.5%
名前は知っているが、内容は知らない	23.5%
名前も内容も知らない	13.9%
無回答	5.1%

問 21 (6) ほっとするまちネットワークシステム

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	2.7%
名前を知っており、内容も少しは知っている	3.3%
名前は知っているが、内容は知らない	15.4%
名前も内容も知らない	73.3%
無回答	5.4%

問 21 (7) ふれあいのまちづくり住民懇談会

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	2.6%
名前を知っており、内容も少しは知っている	3.1%
名前は知っているが、内容は知らない	16.5%
名前も内容も知らない	72.8%
無回答	5.0%

問 21 (8) ささえあいネットワーク

回答数	1,270 件
名前も内容も知っている	3.3%
名前を知っており、内容も少しは知っている	3.8%
名前は知っているが、内容は知らない	17.0%
名前も内容も知らない	71.2%
無回答	4.7%

問 22 (1) ほっとネット推進員

回答数	1,270 件
知っており、相談したことがある	0.7%
知っているが、関わったことはない	11.7%
知らなかった	82.3%
無回答	5.4%

問 22 (2) ささえあい訪問協力員

回答数	1,270 件
知っており、相談したことがある	1.4%
知っているが、関わったことはない	13.9%
知らなかった	79.3%
無回答	5.4%

問 22 (3) 地域福祉コーディネーター

回答数	1,270 件
知っており、相談したことがある	1.6%
知っているが、関わったことはない	19.1%
知らなかった	73.9%
無回答	5.4%

問 22 (4) 生活支援コーディネーター

回答数	1,270 件
知っており、相談したことがある	1.5%
知っているが、関わったことはない	21.6%
知らなかった	71.5%
無回答	5.4%

問 22 (5) 生活サポート相談窓口

回答数	1,270 件
知っており、相談したことがある	1.4%
知っているが、関わったことはない	28.6%
知らなかった	64.5%
無回答	5.5%

問 23 あなたは、福祉に関する情報などをどのように得ていますか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	1,270 件
市の広報紙	74.5%
市のホームページ	13.9%
市の窓口	4.2%
市の掲示物	10.3%
市が行う出前講座	1.2%
民生委員・児童委員	2.4%
社会福祉協議会	3.9%
自治(町)会の回覧板などのお知らせ	8.0%
新聞・テレビ・ラジオ	26.1%
インターネット	15.9%
家族・親戚	11.7%
友人・知人	13.1%
その他	3.2%
無回答	5.5%

問 24 あなたが、地域で暮らす中で困ったときは、誰(機関)に相談したいと思いますか。(〇はあてはまるもの全て)

回答数	1,270 件
家族・親戚	70.7%
友人・知人	45.2%
近所の人	20.9%
自治(町)会	5.1%
民生委員・児童委員	5.9%
社会福祉協議会	5.3%
民間団体(福祉施設等)	1.9%
地域包括支援センター	17.5%
子ども家庭支援センター	2.5%
ボランティア団体やNPO	1.4%
市役所	46.8%
企業	1.1%
ふれまちサポーター	0.2%
ほっとネット推進員	0.5%
地域福祉コーディネーター	2.5%
生活支援コーディネーター	2.4%
ささえあい訪問協力員	1.0%
誰もいない	2.7%
相談したくない	1.1%
その他	2.9%
無回答	4.5%

問 26 5年前と比べて、西東京市の住みやすさはどう変化しましたか。(〇は1つ)

回答数	1,270 件
住みやすくなった	12.1%
変わらない	58.6%
住みにくくなった	9.8%
5年前は他自治体に住んでいた	12.1%
無回答	7.4%

問 27 あなたがお住まいのところは、高齢者や障害者、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

回答数	1,270 件
住みやすい	16.1%
ふつう	64.4%
住みにくい	12.4%
無回答	7.0%

問 27-1 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

回答数	158 件
地域住民の理解や協力が少ない	10.8%
交通機関が不便・利用しにくい	37.3%
買い物などが不便	35.4%
生活の悩みを相談できる窓口が少ない	7.6%
日常生活を支えるサービスが少ない	6.3%
利用しやすい公共施設が少ない	24.1%
道路の段差が多い・歩道が整備されていない	43.7%
身近に働く場所が少ない	10.1%
利用しやすい医療機関が少ない	13.9%
機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	10.8%
防犯・防災対策が十分ではない	13.9%
親子で遊べる場所が少ない	20.9%
その他	15.8%
無回答	0.6%

問 28 地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解決する取り組みが必要だと思いますか。(〇は1つ)

回答数	1,270 件
必要だと思う	41.6%
どちらかといえば必要だと思う	42.2%
あまり必要ではない	9.4%
必要ではない	1.3%
無回答	5.5%

問 29 市には、地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みがあります。このような仕組みについてどう思いますか。(〇は1つ)

回答数	1,270 件
重要だと思う	26.4%
どちらかといえば重要だと思う	49.7%
あまり重要ではない	9.9%
重要ではない	2.1%
無回答	11.9%

問 30 地域の皆さんからの、生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口として、「地域福祉コーディネーター」を設置しています。今後、日常生活の中で何か困りごとがあったときに、相談してみたいと思いますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
相談したことがある	1.7%
機会があれば相談してみたいと思う	42.9%
関心はあるが相談できるかはわからない	37.4%
相談したいとは思わない	9.6%
無回答	8.4%

問 31 ほっとネットの中で、地域の問題や課題を発見し解決のために協力して下さる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
現在参加している	0.4%
機会があれば参加してみたいと思う	10.8%
関心はあるが参加できるかはわからない	52.4%
参加したいとは思わない	26.7%
無回答	9.7%

問 32 あなたは、安心して暮らせるまちのために、住民参加の取り組みとしてどのような活動が重要だと思いますか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	1,270 件
地域での声かけ、見守り活動	50.9%
高齢者のためのサロン	31.3%
障害児・者のためのサロン	17.7%
子育てのためのサロン	22.4%
子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)	32.4%
子どもたちの福祉の心を育てる活動	17.3%
高齢者・親・子どもなどの世代間交流	21.3%
障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動	16.8%
防犯活動	45.7%
災害時に助け合うための関係づくり	48.5%
住民が参加しやすい場所、拠点づくり	25.2%
日常のちょっとした困りごとのお手伝い	20.2%
言葉や文化の違いの理解を深める交流活動	9.0%
中学生・高校生が自ら企画した地域活動	10.0%
自分たちの活動を、わかりやすく情報発信するための活動	8.4%
その他	1.8%
住民参加の活動は必要ない	2.8%
無回答	10.1%

問 33 上記(問 32)のような住民参加の取り組みを進めるにあたって、何が必要だと思いますか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	1,270 件
活動を支える協力者	50.6%
リーダーの養成	26.1%
活動者・協力者間の交流・相談の場	29.5%
活動する場	28.7%
サービス・相談機関等に関する情報の提供	28.3%
活動の資金	31.7%
地域の課題に対する情報提供	26.5%
活動に参加するための講座・行事の開催	19.4%
その他	1.4%
特になし	5.7%
無回答	10.9%

問 34 今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(○は1つ)

回答数	1,270 件
できるだけ地域の住民どうしで協力して解決したい	11.1%
行政や専門機関に解決してもらいたい	19.0%
住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい	58.9%
その他	1.8%
無回答	9.2%

問 35 地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれですか。(○は3つまで)

回答数	1,270 件
学校における福祉教育の充実	16.3%
身近で福祉活動を行う人材の発掘	10.7%
福祉活動を行う場所の発掘	4.3%
NPO等の活動支援	6.5%
地域における連携体制づくり	15.0%
出会いの場、話し合いの場づくり	12.0%
地域における支え合い活動の促進	8.8%
相談支援体制の充実	13.1%
わかりやすい情報の提供	37.7%
サービス利用者の権利擁護の確保	2.7%
福祉サービスに結びつける仕組みづくり	7.8%
多様な課題に対応する仕組みづくり	10.6%
福祉サービスの質の向上の確保	12.4%
福祉専門職等の人材の確保・育成	15.6%
多様な福祉サービス提供事業者の育成	5.2%
防災対策の充実	24.6%
防犯対策の充実	21.8%
人にやさしいまちづくりの推進	15.8%
安全に移動できる手段の確保	9.2%
高齢者や障害のある人の就労支援	10.8%
生活困窮者への支援	7.9%
その他	2.4%
無回答	5.0%

②民生委員・児童委員

問 1 あなたは現在何期目ですか。(○は1つ)

回答数	137 件
1期目	20.4%
2期目	27.0%
3期目以降	49.6%
無回答	2.9%

問 2 あなたが担当されている地区はどちらですか。

回答数	137 件
田無町	7.3%
南 町	6.6%
西原町	3.6%
緑 町	2.2%
谷戸町	8.0%
北原町	2.2%
向台町	5.8%
芝久保町	8.0%
新 町	4.4%
柳 沢	6.6%
東伏見	2.9%
保谷町	5.1%
富士町	5.8%
中 町	3.6%
東 町	4.4%
泉 町	3.6%
住吉町	3.6%
ひばりが丘	3.6%
ひばりが丘北	2.2%
栄 町	1.5%
北 町	2.2%
下保谷	3.6%
無回答	2.9%

問 3 あなたは、地域の課題を解決するために、行政(市、県、国などの行政機関)に相談したり、手助けを求めたりしたことがありますか。(○は1つ)

回答数	137 件
ある	62.0%
ない	34.3%
無回答	3.6%

問 4 (1) 社会調査活動

回答数	137 件
充実させる	11.7%
現状で十分	71.5%
多すぎる	8.8%
無回答	8.0%

問 4 (2) 相談活動

回答数	137 件
充実させる	29.2%
現状で十分	61.3%
多すぎる	1.5%
無回答	8.0%

問 4 (3) 情報提供活動

回答数	137 件
充実させる	30.7%
現状で十分	55.5%
多すぎる	7.3%
無回答	6.6%

問 4 (4) 連絡通報活動

回答数	137 件
充実させる	21.2%
現状で十分	67.9%
多すぎる	2.9%
無回答	8.0%

問 4 (5) 調整活動

回答数	137 件
充実させる	14.6%
現状で十分	71.5%
多すぎる	4.4%
無回答	9.5%

問 4 (6) 生活支援活動

回答数	137 件
充実させる	29.9%
現状で十分	61.3%
多すぎる	2.2%
無回答	6.6%

問 4 (7) 意見具申活動

回答数	137 件
充実させる	23.4%
現状で十分	66.4%
多すぎる	2.9%
無回答	7.3%

問 5 現在、担当されている地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇はあてはまるもの全て)

回答数	137 件
あいさつをしない人が多い	11.7%
近所との交流が少ない	51.1%
世代間の交流が少ない	55.5%
地域の活動が活発でない	40.9%
地域の中で気軽に集まれる場が少ない	43.8%
移動手段が整っていない	19.7%
買い物へ行くのに不便を感じている	20.4%
緊急時にどうしたらよいかわからない	22.6%
治安が悪くなっている	2.9%
地域から孤立している人がいる	25.5%
サービスに結びついていない人がいる	32.8%
その他	5.8%
特になし	1.5%
無回答	3.6%

問 6 現在、担当されている地域の中で、次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(〇はあてはまるもの全て)

回答数	137 件
高齢者のみの世帯	73.0%
寝たきりの人	2.2%
認知症の人	32.8%
病気療養中の人	19.7%
閉じこもりや引きこもりの人	26.3%
生活困窮者	13.1%
その他	16.1%
いない	2.9%
わからない	10.2%
無回答	2.9%

問 7 担当の地域の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますか。(〇は1つ)

回答数	137 件
とても関心がある	1.5%
ある程度関心がある	54.0%
あまり関心がない	40.1%
全く関心がない	0.7%
無回答	3.6%

問 8 (1) 成年後見制度

回答数	137 件
名前も内容も知っている	48.9%
名前を知っており、内容も少しは知っている	42.3%
名前は知っているが、内容は知らない	7.3%
名前も内容も知らない	1.5%
無回答	0.0%

問 8 (2) 生活困窮者自立支援制度

回答数	137 件
名前も内容も知っている	27.0%
名前を知っており、内容も少しは知っている	54.0%
名前は知っているが、内容は知らない	17.5%
名前も内容も知らない	0.7%
無回答	0.7%

問 8 (3) 地域包括支援センター

回答数	137 件
名前も内容も知っている	78.1%
名前を知っており、内容も少しは知っている	20.4%
名前は知っているが、内容は知らない	1.5%
名前も内容も知らない	0.0%
無回答	0.0%

問 8 (4) 西東京市社会福祉協議会

回答数	137 件
名前も内容も知っている	70.8%
名前を知っており、内容も少しは知っている	24.1%
名前は知っているが、内容は知らない	5.1%
名前も内容も知らない	0.0%
無回答	0.0%

問 8 (5) ほっとするまちネットワークシステム

回答数	137 件
名前も内容も知っている	33.6%
名前を知っており、内容も少しは知っている	43.8%
名前は知っているが、内容は知らない	17.5%
名前も内容も知らない	4.4%
無回答	0.7%

問 8 (6) ふれあいのまちづくり住民懇談会

回答数	137 件
名前も内容も知っている	45.3%
名前を知っており、内容も少しは知っている	36.5%
名前は知っているが、内容は知らない	16.8%
名前も内容も知らない	1.5%
無回答	0.0%

問 8 (7) ささえあいネットワーク

回答数	137 件
名前も内容も知っている	42.3%
名前を知っており、内容も少しは知っている	45.3%
名前は知っているが、内容は知らない	12.4%
名前も内容も知らない	0.0%
無回答	0.0%

問 9 (1) ほっとネット推進員

回答数	137 件
知っており、相談したことがある	32.1%
知っているが、関わったことはない	63.5%
知らなかった	2.2%
無回答	2.2%

問 9 (2) ささえあい訪問協力員

回答数	137 件
知っており、相談したことがある	33.6%
知っているが、関わったことはない	65.0%
知らなかった	1.5%
無回答	0.0%

問 9 (3) 地域福祉コーディネーター

回答数	137 件
知っており、相談したことがある	22.6%
知っているが、関わったことはない	67.9%
知らなかった	8.0%
無回答	1.5%

問 9 (4) 生活支援コーディネーター

回答数	137 件
知っており、相談したことがある	14.6%
知っているが、関わったことはない	75.9%
知らなかった	8.0%
無回答	1.5%

問 9 (5) 生活サポート相談窓口

回答数	137 件
知っており、相談したことがある	8.8%
知っているが、関わったことはない	80.3%
知らなかった	9.5%
無回答	1.5%

問 10 担当されている地域は、高齢者や障がい者、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

回答数	137 件
住みやすい	19.0%
ふつう	65.0%
住みにくい	13.1%
無回答	2.9%

問 10-1 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

回答数	18 件
地域住民の理解や協力が少ない	11.1%
交通機関が不便・利用しにくい	44.4%
買い物などが不便	38.9%
生活の悩みを相談できる窓口が少ない	5.6%
日常生活を支えるサービスが少ない	0.0%
利用しやすい公共施設が少ない	44.4%
道路の段差が多い・歩道が整備されていない	61.1%
身近に働く場所が少ない	33.3%
利用しやすい医療機関が少ない	11.1%
機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	16.7%
防犯・防災対策が十分ではない	16.7%
親子で遊べる場所が少ない	38.9%
その他	0.0%
無回答	0.0%

問 11 地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解消する取り組みが必要だと思いますか。(○は1つ)

回答数	137 件
必要だと思う	48.2%
どちらかといえば必要だと思う	45.3%
あまり必要ではない	4.4%
必要ではない	0.0%
無回答	2.2%

問 12 市には、地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みがあります。このような仕組みについてどう思いますか。(○は1つ)

回答数	137 件
重要だと思う	53.3%
どちらかといえば重要だと思う	40.9%
あまり重要ではない	4.4%
重要ではない	0.7%
無回答	0.7%

問 13 地域の皆さんからの、生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口として、「地域福祉コーディネーター」を設置しています。今後、活動の中で地域の人の困りごとを聞いた時に、相談してみたいと思いますか。(○は1つ)

回答数	137 件
相談したことがある	14.6%
機会があれば相談してみたいと思う	68.6%
関心はあるが相談できるかはわからない	15.3%
相談したいとは思わない	1.5%
無回答	0.0%

問 14 ほっとネットの中で、地域の問題や課題を発見し解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

回答数	137 件
現在参加している	8.8%
機会があれば参加してみたいと思う	21.9%
関心はあるが参加できるかはわからない	63.5%
参加したいとは思わない	5.8%
無回答	0.0%

問 15 あなたは、安心して暮らせるまちのために、住民参加の取り組みとしてどのような活動が重要だと思いますか。(○はあてはまるもの全て)

回答数	137 件
地域での声かけ、見守り活動	83.2%
高齢者のためのサロン	41.6%
障害児・者のためのサロン	24.8%
子育てのためのサロン	33.6%
子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)	53.3%
子どもたちの福祉の心を育てる活動	28.5%
高齢者・親・子どもなどの世代間交流	50.4%
障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動	40.1%
防犯活動	41.6%
災害時に助け合うための関係づくり	68.6%
住民が参加しやすい場所、拠点づくり	40.1%
日常のちょっとした困りごとのお手伝い	46.0%
言葉や文化の違いの理解を深める交流活動	13.1%
中学生・高校生が自ら企画した地域活動	30.7%
自分たちの活動を、わかりやすく情報発信するための活動	22.6%
その他	1.5%
住民参加の活動は必要ない	0.0%
無回答	1.5%

問 16 今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(○は1つ)

回答数	137 件
できるだけ地域の住民どうしで協力して解決したい	9.5%
行政や専門機関に解決してもらいたい	4.4%
住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい	84.7%
その他	0.7%
無回答	0.7%

問 17 地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれですか。(〇は3つまで)

回答数	137 件
学校における福祉教育の充実	16.1%
身近で福祉活動を行う人材の発掘	15.3%
福祉活動を行う場所の発掘	10.9%
NPO等の活動支援	4.4%
地域における連携体制づくり	41.6%
出会いの場、話し合いの場づくり	14.6%
地域における支え合い活動の促進	21.2%
相談支援体制の充実	24.8%
わかりやすい情報の提供	35.8%
サービス利用者の権利擁護の確保	2.9%
福祉サービスに結びつける仕組みづくり	10.9%
多様な課題に対応する仕組みづくり	21.2%
福祉サービスの質の向上の確保	9.5%
福祉専門職等の人材の確保・育成	14.6%
多様な福祉サービス提供事業者の育成	8.0%
防災対策の充実	23.4%
防犯対策の充実	10.9%
人にやさしいまちづくりの推進	13.1%
安全に移動できる手段の確保	10.9%
高齢者や障害のある人の就労支援	7.3%
生活困窮者への支援	7.3%
その他	2.2%
無回答	2.2%

(2) 地区懇談会結果

各圏域で挙げられた地域の困りごとは、次のとおりとなります。

西部圏域

A班

- ・みんなの意識
- ・地域力が弱い・近所つき合いが少ない
- ・コミュニティの活性化が重要
- ・SOSを発信する力と受けとめる力
- ・居場所が必要
- ・交通弱者への支援
- ・道がわかりづらい

B班

- ・空き家
- ・相談先がわからない
- ・移動手段
- ・子どもたちの成長をさまたげている
- ・環境の変化
- ・自転車の乗り方
- ・つながりがない・担い手がない
- ・高齢化

C班

- ・ハード面での整備
- ・交通マナーモラルの問題
- ・高齢化による問題点
- ・活動の継続が大事
- ・場所がない
- ・イベント、集まりの充実が必要・交流が必要
- ・情報がいき届かない
- ・移動手段がない

圏域としての困りごと

- ①みんなの意識醸成が必要
- ②交流が重要
- ③相談先が分からない
- ④情報が行き届かない

北東部地区

A班

- ・災害時の孤立が心配
- ・地域のつながりが希薄化している
- ・自治会のあり方に課題がある
- ・困りごとがわからない
- ・地域の活動が十分に知られていない
- ・ボランティアの不足
- ・参加者の固定化
- ・交通の便が悪く買い物や通院が不便

B班

- ・バリアフリー化
- ・隣近所のつながりがない
- ・地域の居場所が少ない
- ・ハード面の不足
- ・情報の不足
- ・交通手段の不足
- ・買い物難民

C班

- ・近所つき合いが無い
- ・交通の便が悪い・買い物が不便
- ・子育て施策の不足
- ・行政のPR不足
- ・自治会は必要？
- ・居場所の提供
- ・個人情報の弊害
- ・市は計画性を！

圏域としての困りごと

- ①つながりが減り、特に災害時の孤立が心配
- ②地域の居場所が少ない・わからない
- ③交通の便が悪く、買い物や通院が大変

中部圏域

A班

- ・行きやすい交流の場づくり
- ・参加したくなる内容づくり
- ・支援が必要な人の対応
- ・地域の情報を知る機会が少ない
- ・福祉意識
- ・担い手

B班

- ・自治会が減っている
- ・地域の人との関わりが希薄
- ・孤立している人がいる
- ・関わり方がわからない
- ・SOSの発信ができない

C班

- ・自治会、町内会の維持が難しい
- ・地域のつながりが希薄
- ・居場所づくりの進め方
- ・地域の困りごと、人が見えてこない
- ・地域の人材づくり
- ・人のあつめかた
- ・災害時の対応

圏域としての困りごと

- ① 交流の場の減少と参加者の固定化
- ② 地域のつながりと自治会の低迷
- ③ 活動の担い手不足(人材の発掘)

南部圏域

A班

- ・買い物難民
- ・情報の共有化不足
- ・近所づきあい
- ・環境整備
- ・災害
- ・ケアラズカフェ
- ・家族支援
- ・制度の狭間

B班

- ・生活難民
- ・情報が届かない
- ・災害時における知識の共有
- ・ご近所づきあい、自治会
- ・地域子ども達とのかかわり方
- ・「ひとりぐらし」の方への支援・「認知症」への理解
- ・地域活動へのサポート
- ・行政に考えてほしい事

C班

- ・公共交通整備不足・近所の店不足
- ・情報弱者・専門機関の情報発信不足・拠点の認知不足
- ・自治会がない・地域活動の困難さ
- ・高齢者
- ・近所のつながり不足
- ・コミュニケーション
- ・若い人
- ・防災・防犯

圏域としての困りごと

- ① 近所付き合いが薄れている
- ② 情報発信の不足
- ③ 災害時の知識共有
- ④ 交通の不便さ・生活難民

(3) 団体・事業者調査結果

①アンケート結果抜粋概要

地域の中で課題に感じることや、事業を通してよく聞く困りごと(あてはまるものすべてに○)

回答数	事業者 (15件)	団体 (14件)
あいさつをしない人が多い	6.7%	14.3%
近所との交流が少ない	46.7%	28.6%
世代間の交流が少ない	26.7%	42.9%
地域の活動が活発でない	20.0%	14.3%
地域の中で気軽に集まれる場が少ない	20.0%	14.3%
移動手段が整っていない	20.0%	28.6%
買い物へ行くのに不便を感じている	33.3%	7.1%
緊急時にどうしたらよいかわからない	20.0%	14.3%
治安が悪くなっている	6.7%	0.0%
地域から孤立している人がいる	40.0%	7.1%
サービスに結びついていない人がいる	53.3%	21.4%
その他	20.0%	21.4%
特になし	20.0%	14.3%
無回答	0.0%	21.4%

地域の中で、見守り等支援が必要な人や、気にかかっている人(あてはまるものすべてに○)

回答数	団体(14件)
高齢者のみの世帯	42.9%
寝たきりの人	7.1%
認知症の人	21.4%
病気療養中の人	14.3%
閉じこもりや引きこもりの人	35.7%
生活困窮者	21.4%
その他	21.4%
いない	0.0%
わからない	7.1%
無回答	21.4%

活動を行う上で困っていること(あてはまるものすべてに○)

回答数	団体(14件)
活動のマンネリ化	28.6%
新しいメンバーが入らない	35.7%
リーダー(後継者)が育たない	50.0%
市民に情報発信する場や機会が乏しい	21.4%
人々のニーズに合った活動ができていない	7.1%
支援を必要とする人の情報が得にくい	14.3%
困りごとの把握が難しい	14.3%
他の団体と交流する機会が乏しい	14.3%
活動の場所(拠点)の確保が難しい	21.4%
活動資金が足りない	50.0%
その他	28.6%
特に困ったことはない	7.1%
無回答	7.1%

団体の活動の内容や情報の発信方法(あてはまるものすべてに○)

回答数	団体(14件)
市の広報紙	0.0%
社会福祉協議会の広報紙	14.3%
チラシやパンフレットの配布	64.3%
ホームページや SNS	42.9%
メンバーなどによる口コミ	50.0%
地域の掲示板	14.3%
その他	35.7%
無回答	7.1%

新規メンバーの募集を行っているか。(あてはまるもの1つに○)

回答数	団体(14件)
新規メンバーの募集は常に行っている	78.6%
新規メンバーの募集は決められた時期のみ行っている	0.0%
新規メンバーの募集は行っていない	7.1%
無回答	14.3%

活動をしていく上で市に望むこと(あてはまるものすべてに○)

回答数	団体(14件)
団体や活動についてのPR	35.7%
活動上必要な情報の提供	42.9%
活動場所の提供	35.7%
会員募集の支援	35.7%
リーダーの養成支援	7.1%
活動資金支援	50.0%
他団体とのネットワーク化	14.3%
団体運営上の助言	0.0%
設備・備品の充実	21.4%
成果の発表の場の提供	7.1%
その他	7.1%
特になし	0.0%
無回答	21.4%

地域住民の方と一緒に実施していること(あてはまるものすべてに○)

回答数	事業者(15件)
ボランティアの受け入れ	73.3%
施設の利用者等と住民との交流会	20.0%
施設の一部開放や物品等の貸し出し	26.7%
防災等における相互協力(防災訓練、災害時一時受け入れ、要支援者支援など)	13.3%
行事などへの協力・支援(スタッフの派遣や運営資金の援助など)	20.0%
サロン活動やリハビリ教室など	20.0%
研修会・学習会などへの講師派遣	33.3%
生活支援(ゴミ捨て・買い物支援など)への協力	0.0%
その他	13.3%
特に行っていない	13.3%
無回答	0.0%

地域の団体や機関、地域住民の方との交流や地域活動を行ううえでの課題(あてはまるものすべてに○)

回答数	事業者(15件)
活動のマンネリ化	13.3%
住民のニーズに合った活動ができていない	20.0%
支援を必要とする人の情報が得にくい	60.0%
住民に情報発信する場や機会が乏しい	33.3%
職員の高齢化	26.7%
職員の性別に偏りがある	20.0%
職員が不足している	33.3%
様々な人が興味を持ち、参加しやすい活動ができていない	33.3%
地域コミュニティの希薄化	6.7%
それぞれ仕事があり活動できにくい	46.7%
リーダー(後継者)が育たない	13.3%
他の団体と交流する機会が乏しい	26.7%
活動の場所(拠点)の確保が難しい	13.3%
活動資金が足りない	26.7%
活動に必要な情報や専門知識が不足している(適当な相談者がいない)	20.0%
その他	6.7%
特に困っていることはない	0.0%
無回答	0.0%

地域活動を進めるにあたって、市に期待する役割(あてはまるものすべてに○)

回答数	事業者(15件)
地域における施設と住民をつなぐコーディネーターの配置	73.3%
施設、住民を含めたネットワークづくり	40.0%
施設と地域の連携協働に関わる意見交換の場づくり	40.0%
地域活動に係る事例集や具体的なメニューの情報提供	13.3%
活動資金確保に向けた支援の充実	46.7%
活動に関する相談窓口の充実	20.0%
地域活動(交流)拠点の提供	13.3%
活動に対するニーズの把握	20.0%
地域活動の担い手の育成	20.0%
その他	6.7%
特になし	0.0%
無回答	0.0%

サービス提供にあたって質の向上のために取り組んでいること(あてはまるものすべてに○)

回答数	事業者(15件)
サービス提供にかかる職員研修の実施	86.7%
相談窓口の設置などの環境整備	60.0%
サービス提供マニュアルの作成	46.7%
サービス利用者への満足度調査等の実施	53.3%
利用者への情報提供の充実	60.0%
個人情報保護・管理の徹底	86.7%
事業評価の積極的な開示	40.0%
施設・設備等の充実	60.0%
利用者家族とのつながりの強化	46.7%
その他	13.3%
特に何もしていない	0.0%
無回答	0.0%

職員に対する人材育成(あてはまるものすべてに○)

回答数	事業者(15件)
接遇やマナー、身だしなみ	73.3%
意識の向上	93.3%
スキル向上の支援	66.7%
資格取得のための支援	53.3%
虐待防止などの人権教育	53.3%
安全対策の研修等	80.0%
公衆衛生・感染症対策の研修等	80.0%
その他	0.0%
特に行っていない	0.0%
無回答	0.0%

②ヒアリング結果概要

(ア)地域の課題や困りごと

【交流】

- ・世代間の交流が少ない。あいさつが少ない。
- ・つながりを持っている人は多くの居場所や活動に参加している一方、つながりが全くない人はないという両極端な傾向を感じる。

【多問題・制度の狭間】

- ・若い頃からお子さんが引きこもっていたご家庭で、親が認知症になるなど、多問題のケースが出てきている。
- ・中学生頃に勉強が追いついていけなくなったり、

就職に失敗するなど引きこもりになり、8050 問題のようなケースもみる。

- ・高齢者になる手前の世代で制度からは外れているが、閉じこもりなど心配な人もいる。
- ・サービスを拒否あるいはつながりにくい人もいる。

【移動】

- ・地域によっては公共交通機関がないところもある。
- ・身近な小型商店がなくなり、買い物に困っている人がいる。民間の配食サービス等はパソコンが使えない高齢者等では難しい。

【情報・相談】

- ・介護の問題などは突然訪れるため、これまで情報収集をしておらず、いざという時に困る人が多いのでは。
- ・公共施設以外の細やかな子育て支援情報が少なく、家にこもってしまう母子もいるようだ。
- ・市のサービスや制度について情報が行きわたってないと感じる時がある。
- ・全世代の人が、些細なことでも相談できる場が必要。

(イ)地域との関わり

【事業者】

障害福祉サービス事業所

- ・年に一度福祉まつりを行い、小学校や地域の団体にも参加をしてもらっている。
- ・地域との関わりを増やすために、飲食店の少ない地域で、カフェを立ちあげた。人と接するのが好きな障害を持つ利用者も、店員として働いており、地域交流が少しずつ始まっている。

介護保険サービス、障害福祉サービス、その他有償福祉サービス提供事業所

- ・月に2回、道路の清掃・美化を行うほか、必要に応じて除雪作業などを行っている。
- ・自治会の子どもまつりへの寄付。

障害福祉サービス事業所

- ・市民祭りや地域のお祭りへ参加。
- ・地域で暮らす障害者の特性を地域の方に理解してもらおう際、地域の人と適宜連携している。
- ・地域に向けて介護技術研修など、専門知識を伝える研修を実施したことがある。

介護保険サービス事業所、保育園

- ・家族介護者の経験者によるサロンの立ちあげを支援し、場所を貸している。現在介護中の人と話ができる居場所となっている。
- ・サービスの運営会議に、地域の団体から代表として入っていただき、イベントと一緒に実施したことで、サービスについての理解を得られた。
- ・保育園では園庭開放や様々な子育て支援のプログラムを実施している。

介護保険サービス事業所

- ・サービス内容の関係で地域に開かれた取組は難しいが、定期的に活動してくれるボランティアはいる。

生活困窮者支援

- ・立地の関係で地域との交流がしづらいが、民生委員へ支援内容の説明を行うなど適宜連携している。

訪問診療医療機関

- ・支援の内容上、現状では地域連携は難しいが、自治会や民生委員等と連携が取れるようなシステムが今後出来ると良い。

移動支援事業所

- ・月に一度、遠出が難しい方のために、地域の拠点から買い物に出かける「お出かけカフェ」を実施している。自治会等と連携し、取組の周知なども行えている。

【団体】

子ども食堂

- ・主に小学生に対し、地域の拠点において子ども食堂を実施している。小学校区単位に1つあるのが理想で、現在は市内で9か所子ども食堂が立ちあがっている。

中学生の居場所づくり

- ・中学校において、地域住民が開催する「放課後カフェ」という居場所づくりを行っている。放課後の時間帯に学校内の一部で、飲み物の提供を行い自由に過ごせる時間となっている。
- ・全中学校での開催を目標にしており、学校ごとにメンバーは異なるが、主にPTAのOBやおやじの会、民生委員・児童委員、ほっとネット推進員などがスタッフとなっている。

多世代拠点

- ・自宅開放により、高齢者向けの「いきいきミニデイ」、赤ちゃんと保護者向けの「赤ちゃんサロン」、誰でも参加可能な「縁側サロン」の、3種類のサロン活動を行っている。
- ・ミニデイでは有機野菜などを使った手づくりの食事を提供している。

高齢者グループ

- ・友愛活動で、一人暮らしの高齢者宅の鍵を預かるなど、いざという時の支え合いを行っている。
- ・自治会協力として、お祭りや花壇整備への参加、防災訓練等を行っている。

障害者グループ

- ・市民祭りや障害者週間のイベントへ参加している。

障害者グループ

- ・ほっとネット推進員とは、他の会合等で一緒に意見交換を行うなどしている。

第4期西東京市地域福祉計画

発行・編集：西東京市健康福祉部生活福祉課

発行年月：平成31年3月

〒202-8555 東京都西東京市中町1丁目5番1号（保谷庁舎）

電話：042-464-1311（代表）